

第 23 回 議会改革推進特別委員会

令和 5 年 7 月 11 日 (火)
時 分 ~ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委 員】 牛尾委員長、西田副委員長
三浦委員、村武委員、小川委員、佐々木委員、田畑委員

【委員外】

【議長団】 笹田議長

【事務局】 下間局長（書記）、小寺主事

議 題

- 1 議員選出監査委員の廃止について
 - (1) 議会と監査をつなぐ仕組み（議選監査委員の活用）
 - (2) 監査委員の選出・任期
- 2 議会における ICT の活用と推進について
 - ・電子採決システムの導入
- 3 その他

○次回開催 月 日 () 時 分 全員協議会室

◆議会における ICT の活用と推進について

(1) LINE WORKSの活用

- ・特別委員会として、議会全体でLINE WORKSを導入し、活用していく方向性を決定（今後、検討結果報告を議長へ提出）
- ・11月の常任委員会の改選後から議会全体で活用できるよう準備していく
※現在の委員会構成が変更になるためグループ変更が必要
- ・活用できる機能
チャット機能、ビデオ・音声通話機能、スケジュール管理、画面共有、既読機能
カレンダー機能、アンケート機能

(2) 電子採決システムの導入

【導入による効果】

- ・表決の迅速化（現在は議長が目視）
- ・起立・挙手が困難な議員の表決支援
- ・傍聴者等への採決状況の公開性の向上（個々の議員の賛否がモニター上で明確）
- ・表決記録の自動化 など

【導入にあたっての課題】

- ・導入経費（ランニングコスト）
- ・会議規則の改正
- ・議員のシステム活用の習得 など

【採決システムの種類など】

① SideBooks のタブレット採決システムを活用する方法

- ・現在導入している SideBooks のクラウド本棚オプション機能を活用する方法
<https://sidebooks.jp/vote/>
- ・経費：初期費用 8 万円、年額費用 36 万円（税別）

② 議場マイク等の設備更新に伴い採決システムを新規整備する方法

- ・マイクに外付けで用意した採決専用ユニットを活用する方法
- ・経費：初期費用 約 150 万円（税別） ※年額費用なし
（制御システム：約 36 万円、投票ユニット 25 基：約 114 万円）

